



▲日本舞踊を披露する子どもたち

牛深の芸達者が集合！

やってみゅーかい演芸祭

牛深地区の芸達者が歌や踊りを披露する「第9回やってみゅーかい演芸祭」が2月7日、牛深総合センターで開かれました。

牛深地区振興会が毎年行っているもので、500人が来場。日本舞踊や和太鼓など12演目が披露され、来場者から大きな拍手が送られていました。また、チャリティー募金も行われ、集まったお金は市社会福祉協議会などへ寄付されました。

天草市チームは女子が5位、男子が6位

熊日駅伝

「第32回熊日郡市対抗女子駅伝大会」が1月25日、「第41回郡市対抗熊日駅伝大会」(男子)が2月8日に行われ、市チームは女子が昨年より順位をひとつ上げて5位、男子は5連覇を逃し6位でした。女子は、びふれす熊日会館前(熊本市)をスタート・フィニッシュとする7区間28.4km、男子は天草市から熊本市までの14区間106.1kmのコースで行われ、いずれも19チームが出場。選手たちは、沿道から声援を受けながら、懸命にたすきをつないでいました。



▲天草市役所前をスタートする男子1区の選手たち

防災情報や地域力の大切さを学ぶ

熊本県防災気象講演会

1月27日、「熊本県防災気象講演会」が天草市民センターで開かれ、400人が来場しました。熊本地方気象台長の山口俊一さんと県政策参与の吉村郁也さんが、防災情報や地域力の大切さなどについてそれぞれ講演。山口さんは、「身を守るためには警報の種類など、防災情報の理解が必要」、吉村さんは、「空振りをおそれずに、予防的避難を」などと話され、来場者は熱心に聞いていました。



▲講演をする山口さん(左)と吉村さん(右)

多くの人でにぎわった石工・ぽんかんの里

石工・ぽんかんの里 下浦ふるさと祭り

2月1日、「第23回下浦ふるさと祭り」が下浦運動広場で開かれ、約3,000人の人出でにぎわいました。同地区振興会が、まちの特産である石工とポンカン(石製ボール)をPRするために毎年行っているもの。会場では、石製品やポンカンの展示・販売のほか、石でできたボールを転がす「石のボウリング」などが行われ、参加者はストライクをねらって力いっぱいボールを転がしていました。



▶石のボウリングのようす



▲教職員にタックルをする生徒

ぶつかり合って絆をはぐくむ

河浦高校・送別ラグビー大会

河浦高校3年生の男子生徒と教職員対抗の「送別ラグビー大会」が1月29日、同校グラウンドで行われました。ラグビーを通して師弟間の絆(きずな)をよりはぐくむことなどを目的に、毎年実施されている同校の伝統行事です。

前・後半15分で行われた試合には、生徒15人と教職員20人が出場。激しいぶつかり合いを繰り広げていました。

結果は、10対5で4年ぶりに教職員チームが勝利しました。

ふるさとの味は忘れません

高校3年生を郷土料理で送る会

1月31日、「高校3年生を郷土料理で送る会」が栖本福祉会館で行われ、栖本出身の高校3年生15人が参加しました。就職や進学でふるさとを離れる高校生に、郷土の味を忘れずにももらいたいと、市社会福祉協議会・栖本支所が毎年行っているもの。生徒たちは、山菜おこわやブエン寿司、がねあげなど16品を堪能。「ここで食べたふるさとの味は忘れません」と話していました。



▲郷土料理を食べる生徒たち